

訪問歯科診療で「患者提供文書」の有効性を指摘 「ここまでしてくれるとは…」

「生きかた上手」著者 聖路加国際病院理事長

日野原重明氏(98歳)に聞く

「生きかた上手」という本を手にした方は多いと思う。また、「生活習慣病」の名称はすでに日本全国津々浦々まで浸透している。今回は、前者の著者、後者の命名者である聖路加国際病院理事長の日野原重明氏に最近の歯科医師・歯科医療への感想や意見、医療保険制度などについて伺った。その言葉は、日本初の看護学校立ち上げ、「よき事件」から得た貴重な経験、人生訓などに裏打ちされていた。現在九十八歳、現役医師。聞き手は藤野健正広報部長。

藤野健正広報部長 九十八歳の現役医師として活躍ですが、歯や口腔に関して日常、何かお感じのことか。

日野原重明氏 今年十月で九十九歳になります。私が子どもの頃、好きな野球をしている時はむし歯は痛まないのに、帰宅が遅くなり母に叱られたとあります。

患者提供文書をみて「安心し、感心しました」

先生の歯の様子。家内は習慣で、食事の時は五十五〜百回噛みます。そのために、喉につかえたり、誤飲したり、それらが原因の肺炎になったことはありません。食事は、座った状態でよく噛んでからやや前かがみになって飲み込むほうが良いようです。その影響



ひのはら・しげあき：1911(明治44)年10月4日、山口県生まれ、98歳。37年、京都帝国大学医学部卒業。41年から聖路加国際病院内科に勤務。現在、同病院理事長・名誉院長、聖路加看護学園理事長、財団法人ライフ・プランニング・センター理事長など。「生活習慣病」は氏の命名。2000年には、75歳以上の自立した高齢者による「新老人の会」を結成。01年に出版した「生きかた上手」(いきいき刊)は、120万部超のミリオンセラーを記録。これまでに200冊以上の著書を著している。2005年には文化勲章を受賞。

驚きました。訪問歯科診療でここまでしてくれるとは思いませんでした。「お口の健康管理のために」という患者提供文書に歯周病の有無などがわかりやすく書かれており、これをみて安心し、感心しました。

日野原先生 先日、近所の歯科の先生に家内の訪問歯科診療をお願いしました。私は留守だったので、帰宅後、先生が置いてくれた文書を読んでいたのですが、

感動した患者や高齢者は 歯科医師を大切にします

高齢者と歯科医師の関係についても少し。日野原先生 私も来年になると、百歳になります。日本の高齢者人口は、百歳以上の百寿者だけをみても、五十年前は百二十五人でしたが、現在は四万三千



聖路加国際病院理事長室でのインタビュー風景

歯科医師に特養専門などの 特徴付けをしては

ほかにも何か、歯科に対してお感じのことか。日野原先生 歯が健康か否か、歯周病の有無、噛めるか否か。医科ももっと勉強すべきで、歯科医師から情報をいただき患者と接するべきです。そもそも口は消化器、研修医にも「口は消化器」歯は消化器の先端」と説明しています。私

医療費はGDPの 10%以上にする必要がある

ところで、最近の医療保険制度について、特に気になることか。日野原先生 やはり後期高齢者医療制度です。七十五歳以上を別制度にして強制加入、困り込みを行い、年齢差別を行いました。これは許し難いことです。私も親しくしてもらっている東京保険医協会も強気に反

対しています。民主党はマニフェストの中でこの制度を撤廃するといっています。だが、中々なくなりません。即刻なくすべきです。

生きがいを感ずる「こと」 仕事の意味と使命感

六十歳定年制、六十五歳以上を高齢者と呼ぶなど、年齢的な区切りなどについてのお考えを。日野原先生 還暦や定年は七十五歳にすべきです。老人といっても、アクティブに働く人は大勢います。今までと違うやり方で

「よき事件」に 遭遇した

一九七〇年三月の「よき事件」に遭遇されたことですが、その時の様子、その後の先生の人生などを少し。日野原先生 金浦空港で四日間、死ぬような思いをしました。しかし



それからは、「自分の命は与えられたもの」と思うようになりました。与えられた命をどう生かすか「誰かのために命をかけて尽くそう」と思い、これが以後の私の生きがいになりました。人生の中で、人はどこかで自分中心ではなく、誰かのために意味のある存在になるため、何をすべきかを考えるべきです。つらい経験でも、後から振り返るとプラスに思えてくることもあります。

大事なことからすくなく 自ら仕組みをつくっていく

聖路加病院付属の看護士がいます。歯科では、歯科医師のパートナーとして歯科衛生士がいますが、就業三年ほどで辞めるケースが目立ちます。そのため口腔管理のできる衛生士が少ない。何かアドバイスか。日野原先生 大事なことは、後押しする法律などなくとも、自ら仕組みを集まると思っています。

志を立て、勇気を持ってやってみる。そうすることで物事はおもしろくなります。そこに生きがいを感ずる、これが必要です。「私の仕事は意味のあること」という使命感も大事です。それを持つことで新鮮な気持ちでいることができます。

「一般国民・大衆が応援してくれ、その声に従っている」
これからは、必ずこうしないとだめですよ。